

令和2年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(令和元年度事業対象)

令和2年9月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和元年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢美術工芸大学桑村佐和子先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

令和2年9月

能美市教育委員会

目 次

1	事務の点検評価	
	施策1 学校教育の充実	
	1 教職員の資質並びに授業力の向上	4
	2 豊かな心, 確かな学力の向上	5
	3 教育支援の充実	7
	4 教育環境の整備充実	8
	5 コミュニティスクール事業	10
	施策2 青少年の健全育成	
	1 青少年教育	11
	施策3 生涯学習の推進	
	1 生涯学習活動	12
	2 公民館活動の推進	18
	3 社会教育施設の運営	22
	施策4 芸術・文化の振興	
	1 文化財の保存と活用	27
	2 博物館の活動	29
	3 文化振興	32
	施策5 生涯スポーツの推進	
	1 競技スポーツの充実・強化	33
	2 生涯スポーツの普及・振興	35
	3 スポーツ施設の整備充実	36
2	教育委員会会議及び教育委員の主な活動	
	(1) 教育委員会会議	38
	(2) 教育委員の主な活動	42
3	学識経験者の意見	46

施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成をめざして、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。また、学習指導要領に基づき、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、活用力を培う授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

令和元年度の主な取組

◇教職員研修事業（1,073千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、前年度立ち上げた「能美市学びのベーシック事業」を拡充し、市指定研究校に大学等から外部講師を継続して招聘し、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し、共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	東風 安生	北陸大学	8月26日
浜小	学校研究 (国語)	細川 太輔	東京学芸大学	4月25日
				8月6日
				10月11日
				2月13日
寺井小	学校研究 (算数)	藤森 慎一	金沢学院大学	7月5日
				8月8日
		木村 貴之	新潟県見附市立葛巻小学校	1月22日
辰口中央小	学校研究 (国語)	皆川美弥子	宇都宮市立岡本北小学校	6月25日
				8月1日
				10月1日
宮竹小	学校研究 (外国語活動)	中妻 佳代	鳴門教育大学	4月25日
				7月4日
				12月3日

評価

- ・令和元年度の市主催の夏季教職員研修講座は、道徳の教科化が小中学校ともに実施されたことに伴い、今求められる道徳の授業づくりについて研修を深めることを目的に実施しました。

道徳が教科化されたことにより評価をどのように行えばよいのかという教員の疑問に答えるような形で、理論に基づいた実践的で具体的な研修内容は、参加者からも好評でした。小中学校教員合わせて100名を超える参加者となり、道徳の授業改善に役立てようと高い意識をもち参加する姿が見られました。日常の授業改善や教職員の持つ課題に直結する研修を今後も計画したいと思います。

- ・平成30年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」では、市内4小学校（国語2校、算数1校、外国語活動1校）を研究校に指定し、学校研究の充実を図りました。研究授業や講師の師範授業を取り入れた校内研修会を複数回開催し、各校で外部講師を年間3～4回招聘することで継続した指導・助言を受けることができました。より具体的に授業のポイントを指導いただくことで、学校全体での授業改善の意識が高まり、実践につながることができました。また、その成果（1年間の研究内容、指導案、ワークシート等）を市内に発信することができました。

2 豊かな心、確かな学力の向上

令和元年度の主な取組

◇フォローアップスクール事業（1,441千円）

能美市教育施策の大綱では、児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について、以下のように施策を進めることとしています。

変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くために、学ぶ楽しさを感じさせる教育を目指します。基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育みます。特に新学習指導要領でも強くうたわれているように、子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育を充実させます。

本市では、フォローアップスクールという土曜日に行う補充教室を平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し、根上・寺井・辰口の3地区で地域の人材を活用し、実施しています。算数科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。さらに、平成28年度より、学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

令和元年度は、「あいさつを進んでする」「よく考えて自分のための自分の勉強に取り組む」等「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに、学びの基本的な姿を共有し、一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに努めました。また、参加状況、講師補充等の関係で、会場を見直し、6会場から5会場に変更しまし

た。どの会場でも、講師のきめ細やかな見守りの中で、一人ひとりの主体的な学びを進めることができました。

*会場 (平成 28 年度から) 各小学校近隣の公共施設

*講師数 32 名

*参加児童数の推移 (前期の申込状況)

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 22 年度	57	42	36	135
平成 23 年度	47	59	49	155
平成 24 年度	38	53	47	138
平成 25 年度	39	45	42	126
平成 26 年度	31	28	60	119
平成 27 年度	27	21	25	73
平成 28 年度	58	32	93	183
平成 29 年度	36	55	40	131
平成 30 年度	66	56	74	196
令和元年度	39	53	58	150

*上記外の補充学習状況

①宮竹小学校

- ・ 1 年～ 6 年昼検定

②和気小学校

- ・ 放課後学習

評価

- ・ これまでの確実な取り組みが積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。
- ・ 満足度調査
 児童： 満足 81% やや満足 17% やや不満・不満 2%
 保護者： 満足 96% やや満足 4% やや不満・不満 0%
- ・ 講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の確保が難しい状況です。令和元年度は、教員志望の大学生にも講師になっていただいています。講師を確実に確保することが今後の課題です。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,922 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのためのQUアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

- *目的 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにQUアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。
- *対象学年 小学校4年生～中学校3年生全員
- *実施回数 年間2回（6月・11月）
- *実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
平成29年度	45 %	58 %
平成30年度	53 %	60 %
令和元年度	41 %	50 %

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
平成29年度	58 %	61 %
平成30年度	62 %	65 %
令和元年度	60 %	64 %

評価

- ・QUアンケートの結果は学級集団の実態把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。
- ・本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題です。特に、不登校は小学校、中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。本市のいじめ防止基本方針においても、QUアンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

3 教育支援の充実

令和元年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（33,558千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人一人のニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示してい

ます。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や、周囲の児童生徒の学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成 26 年度	20	5	25
平成 27 年度	21	5	26
平成 28 年度	20	8	28
平成 29 年度	23	8	31
平成 30 年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27

評価

- ・特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。
- ・市教育センター、市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視しています。月に1回、市他課も交えての情報交換会があります。
- ・特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。年間2回の研修会を開催しています。4月には、発達障害を抱える子どもの特性や、特別支援教育支援員としての役割について研修しました。9月には実際の支援について情報交換を行う中で、支援にあたって日頃抱えている悩み等を出し合い、より有効な支援について研修を深めました。
- ・市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定しています。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保が難しい現状があります。

4 教育環境の整備充実

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

令和元年度の主な取組

学校施設の安全性と機能向上を目指し、小学校の大規模改修に向けた実施設計や、老朽化に対応した改修工事を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業 (給食室ガス給湯器取替, 小荷物専用昇降機改修)	4,901 千円
◇福岡小学校施設整備事業 (校舎トイレ設計業務委託, 防球ネット設置)	1,561 千円
◇寺井小学校施設整備事業 (グラウンドフェンス改修, テント塗装)	3,152 千円
◇湯野小学校施設整備事業 (給食室床改修, プールフェンス改修)	7,318 千円
◇粟生小学校施設整備事業 (理科室改修, 冷温水発生機修繕)	10,043 千円
◇辰口中央小学校施設整備事業 (体育館床改修, 校舎トイレ設計業務委託)	5,367 千円
◇和気小学校施設整備事業 (校舎トイレ設計業務委託, 家庭室地下ピット改修)	2,643 千円
◇宮竹小学校大規模改造事業 (建築・機械設備・電気設備改修)	189,021 千円
◇根上中学校施設整備事業 (グラウンド維持管理, ソフトテニスコートライン張替)	6,678 千円
◇寺井中学校施設整備事業 (給食室床改修, 給食室天井改修)	7,975 千円
◇辰口中学校施設整備事業 (空調設置, 高圧気中開閉器取替)	17,541 千円

評価

・市内の学校施設は昭和 40 年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から 40 年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。令和元年度、宮竹小学校の大規模改造工事を実施し、老朽化対策に加え、多目的トイレの整備や教室の個別空調化など、教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を実施しました。令和 2 年度には床や壁、天井などの内装工事やプール改修を行う予定です。引き続き安全安心な学校施設の整備を図っていきます。

・令和元年度に工事实施設計を行った 6 つの小中学校の校舎および体育館トイレについては令和 2 年度に改修工事を行います。和便器を洋便器に取替える他、オストメイト設備を新設し、学校の防災機能を高める予定です。

・令和元年度には、学校の老朽化対策を計画的かつ着実に実施していくため、学校施設ごとの中長期的な整備計画を盛り込んだ、「学校施設長寿命化計画」を策定しました。今後はこの計画をもとに学校整備を進めていきます。

5 コミュニティスクール事業（3,854千円）

学校運営協議会を通して、地域、保護者が学校や教育委員会と責任を分かち合いながら、学校運営に参画し、地域全体で子供達を育てる「地域とともにある学校づくり」での取り組みも3年目となります。各学校運営協議会では、学校教育目標を達成するために「どのように実現していくのか」を協議し、コミュニティ・スクールディレクターを中心に、学校と地域を繋ぎ、連携・協働して子供たちの豊かな成長を育む活動に取り組んでいます。

活動の目的を4つかかげています。

・学校のパートナーとして、「どのような子供を育てるのか」「どのように課題を解決したらよいか」という目標を学校と地域・保護者が共有し、目標に向かって連携・協働していくことで、学校を支えます。

・地域の教育力を活用して、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、教育活動の充実・質の向上を図り、子供達の「社会に生きる力」「学ぶ楽しさ」の向上につなげます。また、教職員が子供と向き合う時間の確保にもつなげます。

・地域と学校のかげはしとして、学校と地域をつなげる役割をします。学校と一体になって、組織的で持続可能な「地域とともにある学校づくり」を推進します。そして、地域全体で子供達の成長を支える「学校を核とした地域づくり」につなげます。

・ふるさと愛を醸成するために、地域が関わる教育活動を積極的に行うことで、子供達が地域の一員であることを自覚し、「ふるさと能美市を愛する心」、「誇り」を持つことにつなげます。

主な活動として、地域のサポーターと共に、家庭科の裁縫やミシンの基礎的指導や調理実習支援、農業、伝統工芸、丸いも・柚子などのふるさと学習指導などの授業支援、読み聞かせや計算力向上、放課後学習などの教育活動支援、体育や図工などの安全見守り活動などを展開しました。

評価

- ・令和元年度は、「コミュニティ・スクール推進協議会」委員の見識を高めるために、先進地域の視察や全国の研修大会への参加や文科省のCSマイスターとの座談会を行いました。最新の情報や先進地域の進んだ取組を実感したことで、委員全体の意識や一体感も高まり、活動内容にも深化が見られました。
- ・学校運営協議会の活動が計画的に進められるようになり、学校長や職員からの学校運営

に大変役立っているという評価も高くなりました。そのため、学校からのニーズも増え、多くの地域サポーターが学校で活動する姿が見られるようになりました。

- ・ 課題としては、地域とのネットワークをさらに広め、深めるために、どのようにつながるかを検討していく必要があります。

施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

令和元年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（657 千円）

- ・ 各種会議
 - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び、茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
442作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（8名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（565 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
 - ◇ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ◇ 8月30日(金)、9月2日(月)～5日(木)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約2,605人が街頭に立つ）
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは根上中学校1年生 東野 暖加 さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会が主催する、親子野外活動「あそびワールド in 能美～古代にタイムスリップ～」を開催しました。本活動は、親子で自然と交わる機会を増やし豊かな心の子どもたちを育てることを目的とした親子の野外活動です。

親子7組16名が参加し、和田山古墳群を散策し、自然とふれあい、古墳時代冒険クイズに取り組み、ふるさとの歴史遺産について学びました。バーベキュー場では、古代の衣装を身につけ火おこし体験に挑戦したり、縄文時代・古墳時代の食材や調理方法について説明を聞いたりしました。子どもも大人も夢中になって活動し、子どもたちの健康な身体づくりと親子での思い出づくりに貢献することができました。

評価

・毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

・能美市のお祭り（根上七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子供たちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中に声かけを行う場合は、多くはないですが、時間帯の変更や、人数の見直しを検討しつつ、今後ともパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

・親子7組16名を対象に、親子野外活動を実施しました。自然と交わる機会を提供し、子どもたちに外で遊ぶことの楽しさを伝えられる良い活動になったことがうかがえます。

・今後も、さらなる子どもの健全育成のため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながら、いきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。

施策3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動

令和元年度の主な取組

◇まなびフェスタ2020（237千円）

日 時 令和2年2月16日（日）

午前の部：午前10時から 楽器演奏体験：午前12時30分から 午後の部：午後1時から

会 場 根上総合文化会館 根上学習センター 寺井地区公民館

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

◆分科会（8つ…404名参加）

身近な生活課題をテーマに、子供から大人まで参加できる8つの分科会を設けました。参加者に自分のスキルアップや勉強の時間として活用してもらうことを目指しています。

◆お試し体験講座 (3つ…141名参加)

文化活動等を気軽に体験できる3つのお試し体験講座を設けました。参加者が生涯学習活動を始めるきっかけになることを目指しています。

No.1 分科会

「みんなでスライディングペタンク!!」～ニュースポーツの祭典～

No.2 分科会

「やさしいまち宣言!! 心と体の健康を考える」

～幸せに生きるヒント集No.1～

No.3 分科会

『老後資金2,000万円不足問題』の解決法とは？」

No.4 分科会

「日本昔話で哲学カフェ」

No.5 お試し体験講座

「いろいろな楽器の演奏を体験してみよう」

No.6 分科会

「つくって学ぼう! 能美市の魅力」

～新博物館がやってくる～

No.7 分科会

「郷土を知ろう, そしてつながろう!」

～コミュニティ・スクール～

No.8 分科会

「レゴでSDGsを楽しもう!」

No.9 分科会

「万葉集は面白い」

No.10 お試し体験講座

「超入門!! 囲碁講座」(午前の部),

「囲碁9路盤で楽しもう」(午後の部)

No.11 お試し体験講座

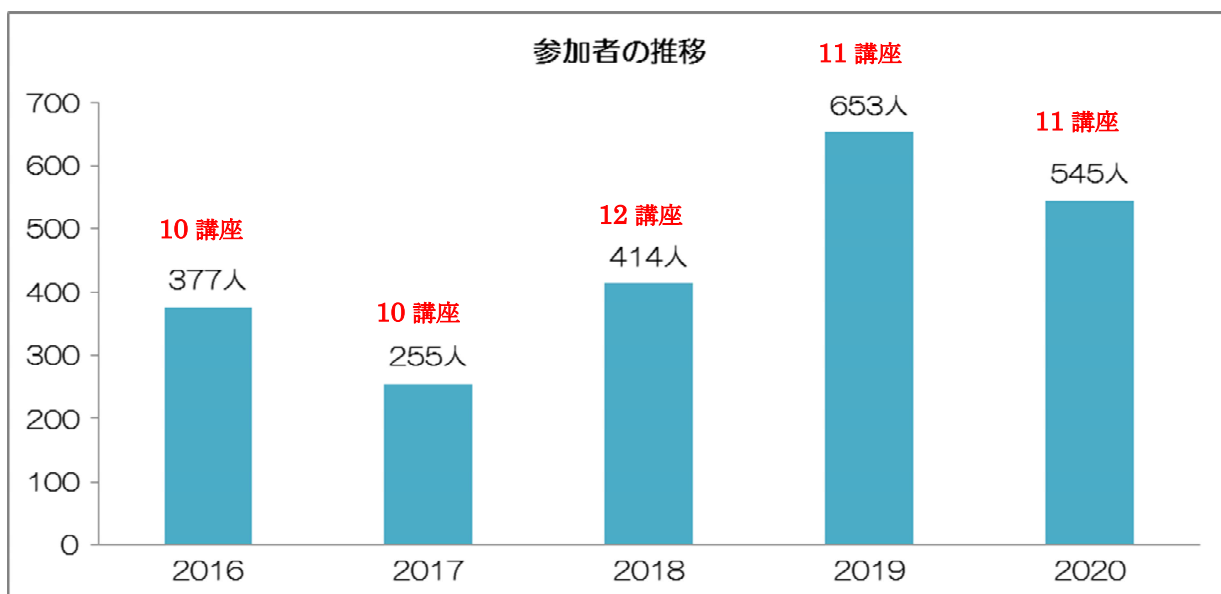
「世界を学ぼう!」

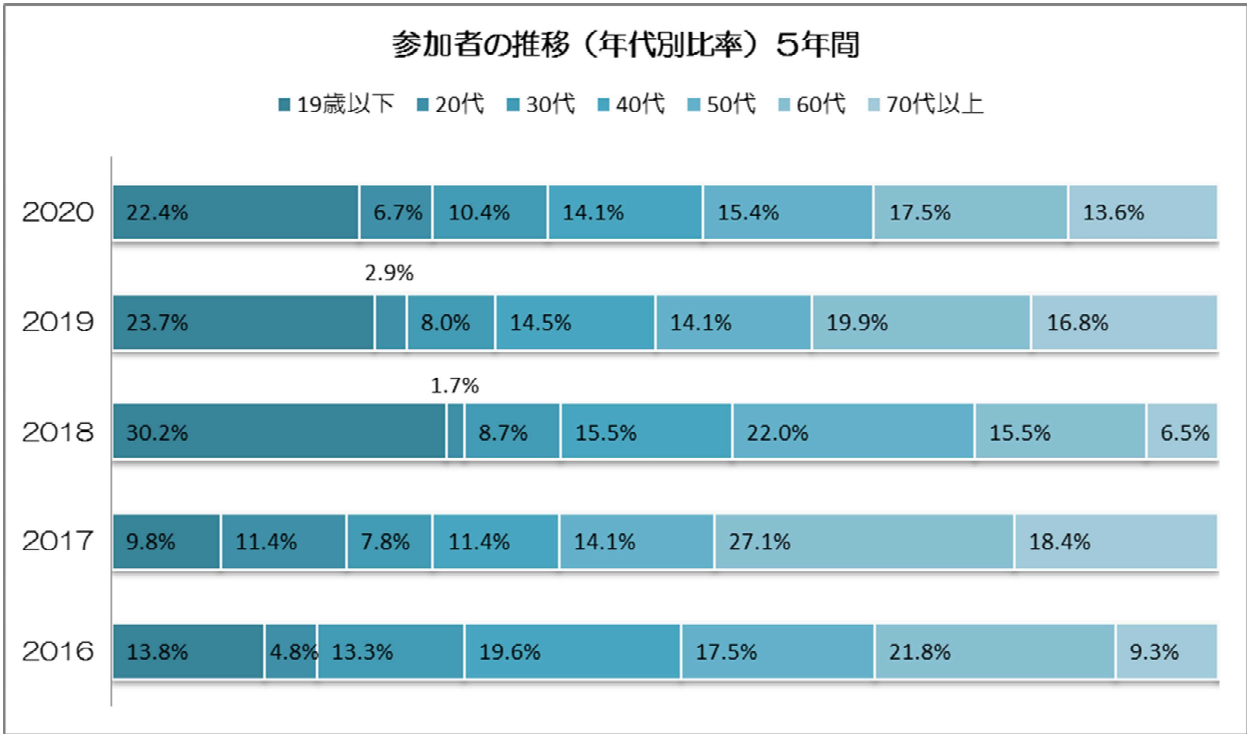
～エッ!と驚く発見が～(^)

◆参加者アンケートより

- ・スライディングペタンクというスポーツがあることがわかった。参加して良かった。
- ・子どもと一緒に楽しめてよかった。簡単なルールでわかりやすくよかった。
- ・心と体の関係について実感できた。先生のお話でいろいろ考えさせられることもあった。
- ・こころの健康、身近な問題でありながら、触れる機会がないので今回参加して良かった。
- ・老後資金 2000 万円の内容についてよくわかった。次回は相続の問題を取り上げてほしい。
- ・和やかにみなさんと哲学できて良かった。中嶋先生の語りがわかりやすかった。
- ・初めて演奏したのもあったので、とても楽しかった。他の楽器もやってみたい。
- ・演奏の仕方を丁寧に教えていただけて、初めて触れる楽器でも楽しく弾くことができた。
- ・毎回楽しみながら学ばせてもらって、すごい。子どもたちも体験を通じて学習意欲が出てうれしい。
- ・博物館に貼られるタイルを作成できてうれしい。色々な体験をできて楽しかった。
- ・SDGs についてよく理解していなかったことがわかり、参加して色々と学ぶことができ勉強になった。
- ・普段なかなか考えていないことを子どもと一緒に考える機会をもらい、ありがとうございます。
- ・初参加だったが、「万葉集」を学ぶきっかけになり、うれしかった。時間もちょうどよい。
- ・学ぶ意欲の高い人が多くいる。気軽な気持ちで聞くことができよかった。
- ・囲碁のことがよくわかり、楽しかった。
- ・少し難しかった。囲碁はおもしろいと思った。
- ・国際交流の勉強になった。
- ・色々な国の遊びもクイズも楽しかったし、多くの方とふれあえたのがとてもよかった。

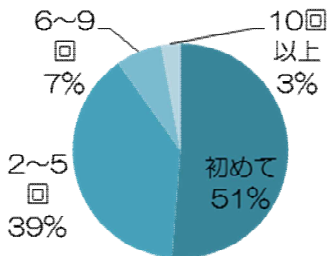
No.		内容	人数	No.		内容	人数
1	分科会	スライディングペタンク	45	7	分科会	コミュニティ・スクール	97
2	分科会	心と体の健康	51	8	分科会	SDGs	33
3	分科会	年金問題	19	9	分科会	万葉集	58
4	分科会	哲学カフェ	16	10	体験講座	囲碁	31
5	体験講座	楽器演奏体験	42	11	体験講座	国際交流	68
6	分科会	新博物館	85	参加人数合計			545



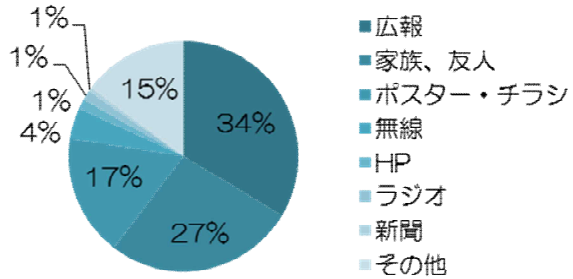


まなびフェスタ参加者アンケートより（回答者数 222 人）

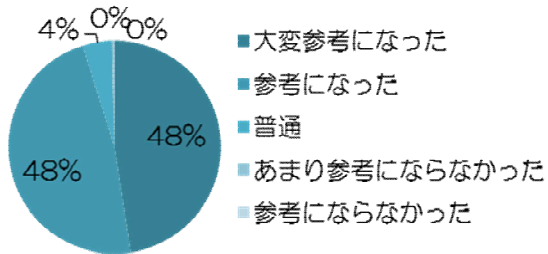
これまでに参加したことがありますか？



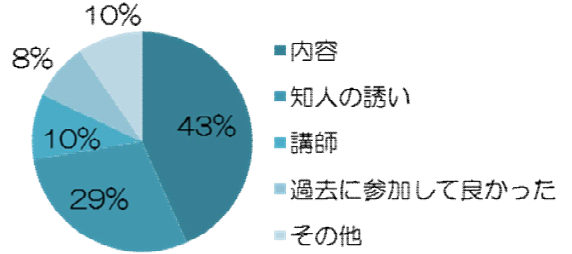
どの情報から知りましたか？（複数回答可）



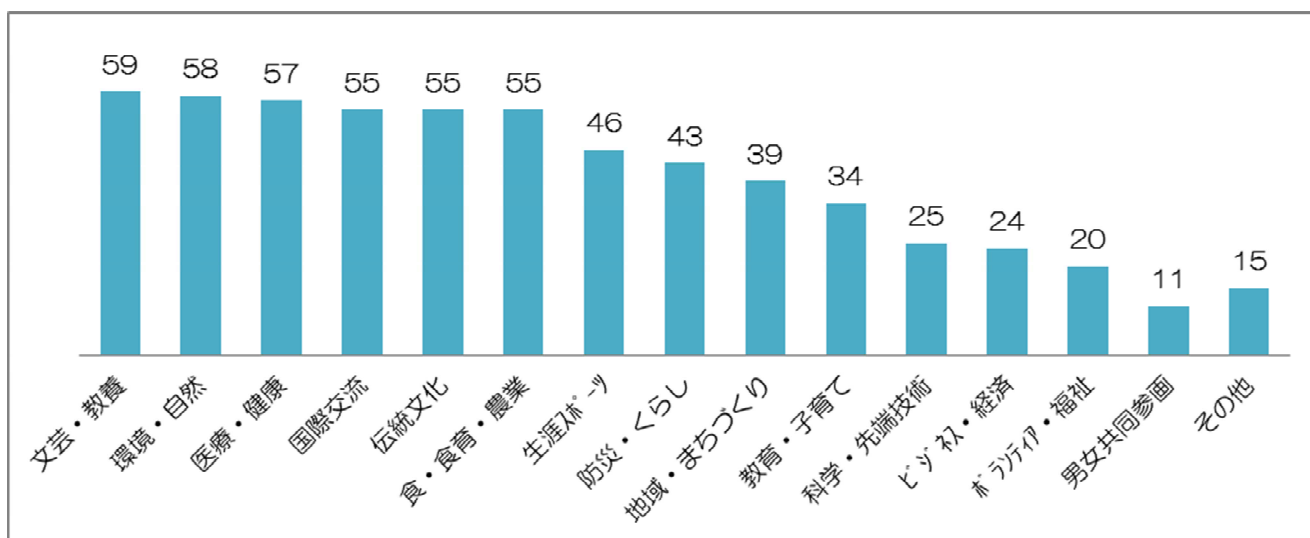
今回参加された分科会・お試し体験講座について



参加の決めては何ですか？（複数回答可）



次回、取り上げてほしい分科会はありますか？（複数回答可）



評価

○まなびフェスタ

小学生の子どもから80代の高齢者まで、幅広い年齢層の方にご参加いただきました。複数の分科会、講座に参加できるよう午前の部、楽器演奏体験の時間、午後の部と時間を別け、約550名の多くの方に参加していただきました。

アンケートでは、96%の方に「参考になった」と回答していただき、大多数の参加者は内容に満足していることがうかがえます。感想からは、「多くの人とふれあえてよかった」という声もあり、地域活動への参画や世代や地域を超えた人々との交流を促進する機会となっていることを期待します。

今回は、ニュース等で話題となっているテーマを取り上げた「老後資金2,000万円不足問題」や「SDGs」、その他、令和2年秋に開館予定の「能美市の新しい博物館」をテーマに開催した分科会が注目を集めました。今後も新規参加者やリピーター獲得のため、生活に沿った分科会、興味のある講座を模索しつつ、地域団体と協働し、内容の充実を図ります。

2 公民館活動の推進

令和元年度の主な取組

◇成人式(1,438 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開 催 日 令和 2 年 1 月 12 日 (日)

会 場 根上総合文化会館

時 間 10 時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	81 人	102 人	79.4%
	女	82 人	107 人	76.6%
寺井	男	95 人	111 人	85.6%
	女	91 人	113 人	80.5%
辰口	男	64 人	79 人	81.0%
	女	68 人	87 人	78.2%
計	男	240 人	292 人	82.2%
	女	241 人	307 人	78.5%

◇立志式 (193 千円)

14 歳の少年・少女に、自ら将来に臨んで志を立て、次代を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための目標を持たせるため、実施しました。令和元年度も 3 中学校同時に開催しました。

○式典

日 時：令和 2 年 2 月 17 日 (月) 14:00～

開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

参加人数：根上地区 165 名

寺井地区 186 名

辰口地区 164 名 計 515 名

○記念講演

講 師：北陸先端科学技術大学院大学 総括理事兼副学長 寺野 稔 氏

演 題：科学研究の楽しさ ～身近な現象から科学の本質へ～

◇総合文化祭

〈展示部門〉(161千円)

日 程 文化協会：11月2日(土)～11月4日(月・振休)

一般展示：11月8日(金)～11月10日(日)

会 場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター，寺井図書館

一般展示：根上総合文化会館

内 容 展示を2週に分けて実施しています。1週目はいけ花，川柳などの市文化協会の作品。2週目は地区公民館，CC館，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(541千円)

○ジュニア文化発表会

日 程 10月23日(水)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内小学校の児童が元気いっばいに合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 11月9日(土)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のために練習してきた出し物を披露しました。

◇ 地区公民館・自治公民会協議会の活動 (8,513千円)

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
3月6日	スポフェス企画運営委員会	根上総合文化会館
3月20日	スポフェス実行委員会	根上総合文化会館
4月10日	自治公民館協議会館長会	根上総合文化会館
5月8日	スポフェス協力員会・企画委員会	根上総合文化会館
5月10日	スポフェス協力団体会議	根上総合文化会館
5月19日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月11日	各種教養講座・趣味の教室 始まる	寺井地区公民館
7月5日	公民館事業推進委員会	寺井地区公民館
6月23日	寺井地区グラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場

7月14日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
8月2日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
8月20日	自治公民館長及び体育部長会議	寺井地区公民館
9月18日	スポフェス壮年団説明会	寺井地区公民館
9月19日	スポフェス, 駅伝, ソフトバレーボール 監督者会議	寺井地区公民館
9月27日	歳末助け合い入札展打合せ会	寺井地区公民館
10月6日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月12~13日	台風19号で自主避難所開設	寺井地区公民館
10月13日	寺井地区一周駅伝競走大会/中止	寺井地区一円
10月13日	寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
12月6~8日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
5月16日	スポフェス検討会 自治公民館協議会が会としては不参加が確定	辰口福祉会館
5月16日	スポフェス検討会2	辰口福祉会館
6月21日	能美市でホテルを見よう!「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
6月25日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
8月7日	夏休み, 手作り工作体験教室「本棚をつくろう」	寺井地区公民館
9月19日	スポフェス協力員説明会	辰口福祉会館
10月6日	スポーツフェスティバル in たつのくち 町会主体の「自由参加」で開催	物見山陸上競技場
3月23日	しいたけの植菌体験/コロナウイルス対応で中止	寺井地区公民館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月13日	市役員会, 監査会	寺井地区公民館
2月21日	市総会	寺井地区公民館
4月26日	市役員会	寺井地区公民館
7月6日	視察研修: 航空自衛隊小松基地視察 (17名参加)	航空自衛隊小松基地
11月8日	秋季研修: 三方レインボーライン, 年縞博物館他 (20名参加)	福井県若狭方面
11月9日	能美市民文化・芸能大会参加	根上総合文化会館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月23日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月6日	根上地区総会	根上総合文化会館
4月10日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月19日	能美市民スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月6日	3地区合同春季研修会	航空自衛隊小松基地
7月27日	根上七夕まつり 踊りの夕べに参加	根上総合文化会館
11月2日	3地区合同秋季研修会	福井方面
11月9日	市民文化芸能大会に参加	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月29日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月8日	寺井地区総会	寺井地区公民館
6月23日	グラウンドゴルフ大会（地区公民館と共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7月6日	3地区合同での春季研修会	小松基地
7月14日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円
8月20日	寺井地区館長・体育部長会	寺井地区公民館
9月19日	秋の体育行事監督者会議	寺井地区公民館
10月6日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小学校グラウンド
10月13日	寺井地区一周駅伝大会／雨天中止 寺井地区ソフトバレーボール大会：28チーム	寺井地区町内一円 寺井体育館
11月2日	3地区合同秋季研修会	福井県若狭方面
11月9日	市民文化芸能大会に参加	根上総合文化会館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月10日	会計監査会	寺井地区公民館
1月25日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
2月9日	辰口地区総会	辰口福祉会館
6月14日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
7月6日	3地区合同での春季研修会	航空自衛隊小松基地
11月2日	3地区合同秋季研修会	福井県若狭方面

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位の設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいます。色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されています。

○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。

3地区とも地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあり、一つの地区に大小の町会・町内会が混在しています。特に辰口地区では世帯数1,400に迫る町会がある一方、僅か12世帯の町会もあり、100世帯に満たない町会が37町会中21町会と、数多くの小さな町会が中山間地に立地しています。

このため辰口地区では、地区内を6つのグループに分けてあり、グループ単位や複数の公民館での活動も見受けられ、自治公民館は、地域コミュニティ形成に必要不可欠な存在となっています。

令和元年度は、辰口地区自治公民館協議会が、「規模の小さな町会・公民館にとってスポーツフェスティバルは負担が大きい。」との理由から、「協議会として辰口地区スポーツフェスティバルに参加しない」事を決定するという、合併以降の自治公民館活動の中で大変大きな変化があった年度となりました。

幸い、辰口地区のスポーツフェスティバルは「自由参加」を基本として、参加する町会が集まってこれまでとは異なった形で開催されました。

また、自治公民館協議会の役員選出が年々難しくなって来ているという事実があります。従来の協議会役員の輪番制採用により、組織の弱体化が進んでいることも捉えたうえで、その解決策を探って行かなければならないと思っています。

今後も、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を元気にすることが求められていることは、変わりの無い事実です。

3 社会教育施設の運営

◇市立図書館（160,376 千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

令和元年度の主な取組

○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。
（根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（令和2年3月末統計）

- ・蔵書数：411,802冊
- ・人口：49,990人（令和2年3月31日現在）
- ・登録者数：45,229人
- ・登録率（市民）：60.2%
- ・貸出者数：104,067人
- ・市民一人当たりの貸出冊数：6.4冊
- ・貸出冊数：441,029冊
- ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）：1.1回

○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

◎講座・講演（短歌講座・まちづくり出前講座など）

◎年代に応じた児童サービス（ブックスタート・定例おはなし会・保育園や児童館などへの出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会・親子映画上映会・工作教室など）

◎保育園・小中学校との連携事業（小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学一年生の図書館招待・中学生の職場体験・読書スタンプラリーなど）

◎「第3次子ども読書活動推進計画」の改定

- ・関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

◎関係機関と連携した展示の実施

福祉課「自殺予防」・健康推進課「生活習慣病」・地域振興課「男女共同参画」
学校教育課「道徳教科書」・のみ商業組合「まちゼミ関連本」

○ 啓発・広報事業

図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、年齢別図書リスト配布を行いました。

○ 職員研修

職員の専門的力量的向上を図るため、職員研修を実施しました。

- ・8月2日「手遊び・読み聞かせ研修」学校図書館司書との合同研修
- ・3月5日「福祉相談会」視覚障がい者対象の福祉機器等についての研修

○ 安心・安全な図書館利用への対応

9月 図書館情報システム更新（9月11日・12日3館休館）

11月 寺井図書館 空調設備取替工事（11月4日～1月13日まで休館）

評価

- ・図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を実施しました。
- ・資料収集事業では、利用者が図書館資料を円滑に利用できるように、わかりやすく、興味を引く配架の工夫など読書環境を整えることに努めました。
- ・貸出閲覧事業では、インターネットからの予約や県内外図書館との相互利用を活用して、利用者への資料提供に努めました。
- ・図書館情報システムを更新し、利用者への利便を図りました。
- ・「第3次能美市子ども読書活動推進計画」を改定し、子ども読書活動の推進に取り組みました。
- ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の施行に基づき、図書館での計画作成のため、福祉課の協力を得て、研修を行いました。
- ・職員研修の実施と研修成果を職員全員で共有することに努めました。
- ・各年代に応じた図書館サービスの実施や蔵書の充実などで、利用機会の拡大を図りましたが、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも減少傾向にあります。新たな利用者の開拓や継続利用者の増加に向けて、図書館全体で課題を共有し解決することで、利用促進を図っていく必要があると考えます。

◇ 根上学習センター（62,941千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会、研修会、サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など、多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

令和元年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業の企画運営は、金沢大学准教授を指導顧問に迎え、能美星の会、根上いん石の会、市内小中学校などで構成する企画運営委員会において、事業内容を協議して事業を実施しました。

- 1 当市には石川県に唯一落下した根上いん石があることから、宇宙への興味・関心を高め

る機会として、市内小学4年生対象の「星空・いん石学習」、保育園園児を対象に根上図書館との共催による「プラっとお話。」を実施しました。また、一般市民を対象に能美星の会の会員が講師となり、プラネタリウムを活用した星空教室、当センター屋上等で望遠鏡を使った星空観察会を実施し季節の星空や天文現象に親しむ機会を提供しました。

- 2 小学生対象に、身の周りの不思議に気づき、発見し探究する場として、おもしろ科学教室、おもしろ科学工作教室、ガリレオクラブ等の教室を開催し、熟練講師による指導、運営によって、科学に対する意識の高揚を図りました。
- 3 夏休み期間には、宇宙や科学により身近に体験する機会として「サイエンスフェスタ」を開催しました。学校及び市内の有志のご協力による「科学の館屋台店」「サイエンスショー」JAXAの支援による小学生対象のコズミックカレッジ、プラネタリウムの無料開放等を実施しました。

評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として、各種団体等に日常的に使用されており、今後も能美市の生涯学習施設として、活用されるよう施設の運営管理に努めていきたいと思えます。

小学生対象の教室は、楽しみながら不思議を発見したり、ものづくりのおもしろさを体験したり、科学への興味、探究心、創造力を育てることに繋がるものです。しかし、社会の変化により、子どもたちの生活が多様化しており、近年、参加者の固定化と減少傾向が見受けられます。

参加者の増を図るには、保護者への周知と理解を得ることが重要であることから、保護者の積極的な参観の受け入れや地域との連携等について、主催事業企画運営委員会のご意見を頂くとともに、若手指導者の確保に努め、事業成果に繋げていきたいと思えます。

◇根上総合文化会館（120,163 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市、市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（令和元年度）

年間利用件数	2,270 件	（平成 30 年度	2,573 件）
年間利用者数	97,860 人	（平成 30 年度	107,698 人）

評価

根上総合文化会館

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。

また、平成 24 年度よりこれまで 2 箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として、演芸、演劇、映画上映会、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏会等幅広い演目のイベントを開催しました。また、11 月を中心に各施設で行われていた様々なイベントを「能美市アットホームタウンフェスティバル」に統合して開催し、市民の皆様へ周知を行い、昨年へ続き非常に多くの皆様にご来場いただきました。

なお、根上総合文化会館も開館して 25 年を超えましたが、令和元年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫をし、取り組んでいます。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

◇青少年ホーム（2,509 千円）

生涯学習講座や各種サークル活動の余暇活動の拠点として利用されています。

評価

近年、高齢者等の生涯学習の場として供されていますが、施設の老朽化が進んでおり、現状の維持に努めながら、市民の学習活動の場としての活用を図ります。

施策 4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

令和元年度の主な取組

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・7,761千円）

①秋常山古墳まつりの開催

毎年9月の秋分の日に、秋常山史跡公園を会場として“能美のまほろば 秋常山古墳まつり”を開催しています。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、秋常山古墳群をはじめとする能美市の古墳を幅広い世代に知ってもらい、親んでもらうことを目的にしています。しかし、令和元年度は台風17号の接近に伴い、開催が中止となってしまいました。8回目の開催となる予定だった今回は、新たな試みとして、のみ古墳女子の会主催による「古墳ファッションショー」や古墳グッズを景品とした「古墳〇×クイズ」、小松市と連携した「加賀立国1,200年遺跡魅力発信コーナー」などを企画していました。残念ながら本番は中止となってしまいましたが、新たな企画とともに、準備段階では古墳ボランティアや金沢学院大学の学生をはじめ、多くの方々にお手伝いしていただき、次回に繋がる活動を展開することができました。

②能美古墳群出土品の再整理

国指定史跡能美古墳群から出土した遺物のさらなる保存と活用を図るため、和田山5号墳出土遺物のクリーニング作業や保存処理作業を業務委託により行いました。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・45,475千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の整備事業を進めました。令和元年度は、末寺山古墳群の法面保護工事、西山古墳群の発掘調査及び保存整備工事基本設計、史跡指定地内の急傾斜地保護工事に係る地質調査及び工法再検討などを行いました。

◇西山古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・7,603千円）

西山古墳群の保存・活用を図るため、史跡指定地内の公有地化を行いました。

◇和田山・末寺山古墳群保存整備事業（補助、単独・新規事業・36,050千円）

和田山・末寺山古墳群のさらなる保存・活用を図るため、末寺山古墳群の史跡指定地内にある墓地を移転する必要があることから、移転先の新たな墓地の造成工事を行いました。

◇博物館建設事業（単独・継続事業・1,290,836千円）

2020年秋の開館を目指して、新能美市立博物館（仮称）の建設を進めています。令和元年度は、

建設工事が完了し、展示工事にも着手しました。

また、新博物館の開館に向けたソフト事業として「みんなで作る博物館プロジェクト」を企画し、博物館建設のPRにも努めました。

評価

【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業】

・古墳まつりは残念ながら中止となってしまいましたが、古墳ファッションショーなどのステージイベントの企画を行い、のみ古墳女子の会や金沢学院大学との連携で準備を進めるなど、新たな試みを行うことができました。令和元年度の成果は次回に持ち越し、来年度の古墳まつりはさらに磨きのかけたイベントにしていきたいです。

・出土品の保存処理を行うことで、学術的に新たな知見を得ることもできました。今後の課題としては、その成果をどのように市民へ伝えていくか、新博物館での展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。

【史跡能美古墳群保存整備事業】

・末寺山古墳群の法面保護工事を行うことで、住民の安全な暮らしと史跡の保護を確保することができました。また、西山古墳群の発掘調査及び整備工事基本設計を行ったことで、今後の本格的な保存整備工事が進められるようになりました。

・今後は、西山古墳群の保存整備工事をさらに進めるため、実施設計や発掘調査を行っていく必要があります。

【西山古墳群保存整備事業】

・西山古墳群の公有地化が進んだことで、今後の保存整備工事が行いやすくなりました。
・今後の課題としては、公有地化ができていない土地について土地所有者の方々との話し合いを進めていく必要があります。

【和田山・末寺山古墳群保存整備事業】

・墓地移転に係る新たな墓地が造成できたことで、今後の移転がスムーズに行えるようになりました。

・今後の課題としては、墓石所有者と連携して墓地移転を確実に進めるとともに、移転後の敷地について保存活用の整備を進めていく必要があります。

【博物館建設事業】

・新博物館の建築工事を完了させ、展示工事へ移行することが出来ました。さらに、「みんなで作る博物館プロジェクト」を展開することで、博物館建設の機運向上に繋げることができました。

・今後の課題としては、展示工事を着実に進めるとともに、展示手法や体験コーナーなどに工夫を凝らし、何度でも訪れたい博物館にしていく必要があります。

2 博物館の活動

◇教育・普及活動 (1,965 千円)

みんなで作る博物館プロジェクトなど (辰口地区公民館との共催を含む)

講座名	期日	講師	参加者
のみ古墳女子 春の古墳散策	4月6日(土)	博物館職員	20
加賀立国と能美古墳群	4月25日(木)	石川考古学研究会 河村好光	50
のみ古墳女子 古墳時代のファッション勉強会&勾玉づくり	5月11日(土)	博物館職員	14
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	第2土曜日 計9回開催	日本野鳥の会石川県支部 幹事 高 剋法・高 文子	110
昔ながらの道具を使ってお米を育てよう～田植え編～	5月28日(土)	博物館友の会 平野 俊也	14
のみ古墳女子 歴史民俗資料館見学&デザイン発表会	6月8日(土)	博物館職員	8
能美市でホテルを見よう	6月21日(金)	石川むしの会 会員	25
のみ古墳女子 秋常山古墳見学&古墳まつり打ち合わせ	7月20日(土)	博物館職員	16
昔ながらの道具を使ってお米を育てよう～除草・農機具見学編～	7月27日(土)	博物館友の会 平野 俊也	16
ハニワ作りに挑戦!Part1	7月31日(水)	地区公民館・博物館職員	28
木工教室 本棚を作ろう	8月7日(水)	地区公民館・博物館職員	36
ハニワ作りに挑戦!Part2	8月18日(土)	博物館職員	29
のみ古墳女子 貫頭衣制作&古墳まつり打ち合わせ	8月24日(土)	博物館職員	8
昔ながらの道具を使ってお米を育てよう～稲刈り編～	9月8日(日)	博物館友の会 平野 俊也	13
加賀立国 1200年遺跡魅力発信委員会 見て着て学ぶ 甲冑スタンプラリー2019	9月23日(月・祝)～30日(土)		135

加賀立国 1200 年遺跡魅力発信委員会 古墳を見つける山歩き 能美編	11 月 7 日 (木)・ 9 日 (土)	小松市埋蔵文化財センター 樫田 誠 博物館職員	30
昔ながらの道具を使ってお米を育てよう～稲刈り編～	11 月 23 日 (祝・ 土)	博物館友の会 平野 俊也	16
加賀立国 1200 年遺跡魅力発信委員会 河田向山古墳群なぞとき調査隊 下草刈り	12 月 13 日 (金)・14 日 (土)・19 日 (木)・21 日 (土)	小松市埋蔵文化財センター職員 博物館職員	49
オリジナル門松としめ飾りをつくらう	12 月 21 日 (土)	CC 館ワーキンググループ 辻 隆志・中田 二郎 博物館友の会 平野 俊也	37
私と彫刻	2 月 3 日 (月)	彫刻家 山下 晴子	74
のみ古墳女子 古墳クッキーづくり	2 月 8 日 (土)	博物館職員	15

団体見学の受け入れ

民具見学 市内小学校・・・3 年生 4 校 児童 266 名
蟹淵観察 市内小学校・・・6 年生 1 校 児童 101 名

出前講座

5 月 22 日 (水) 能美の史跡について (石川縣市町村職員年金者連盟能美支部)
7 月 24 日 (水) 能美の史跡について (新保町いきいきサロン)
7 月 30 日 (金) 能美電について (辰口保育園)
10 月 4 日 (金) 文化財について (辰口中学校)
11 月 16 日 (土) 秋常町の歴史について (秋常町公民館)
1 月 17 日 (金) 能美の民話について (石子町いきいきサロン)

博物館友の会

講演会・・・総会 講演会 「加賀立国と能美古墳群」
講 師 石川考古学研究会 河村好光

新年会 講演会 「彫刻と私」
講 師 彫刻家 山下 晴子

研修会・・・春季 日帰り研修旅行

石川県立美術館「若沖と広瑤」
石川県立歴史博物館
25名参加

ボランティア

蟹淵目視観察（9回）・草刈など 参加延べ人数 50名

◇調査・収集・記録事業（1,453千円）

①生物生息調査

・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（5月～9月）

評価

博物館では、平成30年度から継続して行っている「みんなで作る博物館プロジェクト」で新博物館建設を広く市民に周知するとともに、昨年発足した、女性目線で古墳を楽しんでもらう「のみ古墳女子の会」が活動を本格的にスタートしました。さらに2023年に加賀立国1200年の記念の年を迎えることから、「加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会」も発足し、小松市と連携したイベントやPR活動を展開しました。

「みんなで作る博物館プロジェクト」では、昨年同様、昭和30年代ごろの農機具を使った稲作体験をおよそ半年間、同じメンバーで継続的に行いました。米作りの大変さや、昔の人の知恵や工夫を知り、参加者からは「毎日食べているお米のありがたさがわかった」などの感想をいただき、「毎年開催してほしい」と好評を得ました。この他、木工教室などの人気の恒例イベントの他、応募が多いハニワ作り体験は回数を増やすなど、市民のニーズに応えられるよう努め、アンケートでは満足度100%を得ました。

「のみ古墳女子の会」では、能美古墳群の見学に加え、毎年秋分の日で開催している「秋常山古墳まつり」での古墳をイメージした衣装のファッションショーを企画し、それに向けて勉強会やデザイン発表会、貫頭衣の制作などを行い、古墳をPRするお菓子づくりにも挑戦しました。

「加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会」では、能美市・小松市の古墳から出土している貴重な甲冑を見学できる施設をめぐるスタンプラリーや、地形の変化を実際に歩いて古墳を感じるバスツアーも開催。バスツアーに参加いただいた方を中心に「河田向山古墳群なぞとき調査隊」が結成され、能美市・小松市の市境にある河田向山古墳群の調査を目標に、下草刈りなども行いました。

令和元年度は、「みんなで作る博物館プロジェクト」、「のみ古墳女子の会」、「加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会」とターゲットの異なるイベントで多くの年齢層、地域の方に、新博物館や能美市、加賀地域の文化や歴史についてPRでき、どのイベントでも高評価を得ました。その反面、6月に開催したホテル観察会は開催時間直前に天候が崩れ参加者は例年

の4分の1ほどとなり、9月に開催予定だった「秋常山古墳まつり」は台風のため中止、さらに3月には新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になるなどの不運も多く重なりました。

博物館では、イベントの他に、蟹淵での卵塊調査、熊田川の水温計測など自然のモニタリング調査も継続的に行っており、データの蓄積に努めているほか、小学校の民具見学や、蟹淵観察会、町会や学校への出前講座など、博物館という建物がない中で出来る活動も積極的に行いました。

しかし、昨年同様、こうしたイベントなどの開催が博物館建設準備をする中で負担であったことは否めず、展示内容の検討や資料の整理などに割く時間が減ってしまったため、今後も業務の効率化を課題としてまいりたいと思います。

3 文化振興

令和元年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4,760千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計36協会。

◇民俗芸能保存伝承（595千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計14団体。

評価

文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展、発表会などで市民に成果を発表することで、市民の文化意識が向上しています。

小中学生対象に年2回行っている席書大会や、市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第15号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行うことで、教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで、伝統文化を守り伝えていきます。

施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

令和元年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣（3,718千円）

小松市を主会場に開催された「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣するための補助を行いました。猛暑の中、小松市を中心とした各会場では熱戦が繰り広げられました。男子総合4位、女子総合8位となり、選手が一丸となって健闘し男子は前年同様の順位を維持し、女子は順位が下降しました。

◇能美市民体育大会（773千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設を利用して開催され、令和元年度は26競技が開催され、その運営補助を行いました。スキー競技は会場の雪不足のため中止となりました。

◇第44回全日本競歩能美大会（7,209千円）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した今大会の運営費として補助を行いました。

「第14回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、「東京2020オリンピック代表選手選考競技会」を兼ねた一般の部男女の2部門のみ実施し、アジア陸上競技選手権20km競歩、高校生の部、中学生の部は中止となりました。

今回は、これまで実施していた根上野球場前の1km折返しコースから、根上総合文化会館前の500m折返しコースに変更し、距離が短くなった分運営側への負担が軽減されたことに併せて、設備の充実した根上総合文化会館を利用することで選手にとっても快適な運営を行うことが出来ました。

優勝した池田向希選手(東洋大学)、並びに藤井菜々子選手(エディオン)は東京2020オリンピックの代表に内定しました。

昨年実施した飲食ブースなどからなる「エンジョイパーク」や応援ウォーキングなど賑わい創出事業はウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

期 日 令和2年3月15日(日)

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営 20 k m コース (往復 1.0 k m)

◇第 62 回全国銃剣道能美大会 (1,200 千円)

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会です。令和元年度は全国から 166 チーム、950 名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

かねてからの課題であった集客力を高めるため、大会を開催している寺井体育館に隣接した寺井地区公民館にてフリーマーケットを開催しました。多くの市民がフリーマーケットに訪れ、同時に迫力ある銃剣道大会にも足を運んでいただけました。

評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、小松市を主会場として開催されました。能美市体育協会を始めとした各単位協会が力を入れて臨み、男子総合 4 位・女子総合 8 位と健闘しました。女子に順位の上昇が見られましたが、次回大会は成績の向上を目指し取り組んで参ります。

全国銃剣道大会は全国大会でありながら特殊性があり、馴染みの薄い競技ではあるものの、競技レベルは非常に高いものとなってきました。全国から選手が集まるハイレベルな大会であるにもかかわらず、市民に十分に浸透していないことが課題となっていました。

大会会場に隣接した会場でフリーマーケットを開催し、市民が気軽に足を運べる大会づくりを目指しました。実際に、多くの方がフリーマーケットに訪れ、大会会場にも観戦に訪れていました。今後も、より盛り上げる取組みを継続して参りたいと思います。

全日本競歩能美大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために規模を縮小して開催となりました。当初は市民も楽しめる大会づくりを目指して準備を進めて参りましたが、沿道での応援自粛を日本陸上競技連盟が求めていることから、付随した各種イベントを中止し、競技会としての側面のみでの大会となりました。

次年度は全国銃剣道能美大会、また全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取組み、また令和元年度の取組みを改善し継続する方策を検討し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

2 生涯スポーツの普及・振興

令和元年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,000千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内44クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会などを開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

令和元年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導者の資質向上を目指す指導者研修会を中止いたしました。

◇高齢者健康クラブ活動（773千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ100名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成研修会等に参加する等、3クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇能美市スポーツ推進委員会（1,213千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。令和元年度は町会のレクリエーションにはじまり、親子レクリエーションや企業のスポーツレクリエーションとして、ニュースポーツの出前講座を13回開催しました。また、全日本競歩能美大会などのスポーツイベントに運営にも協力しました。

評価

ジュニアスポーツクラブ活動について、緊急メールの整備など、円滑な運営を行うため連携を強化する施策を実施しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、活動の制限や指導者研修会の中止などを決定し、子どもたちの健康面を考慮した運営を行いました。高齢者健康クラブについて、普段市内の3クラブは別々に活動をしており、交流する機会も少ないため、親睦を深める意味でも能美市交歓大会の開催や、石川県健康クラブ交歓大会に参加し、市内や県内のクラブとも交流しました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会について、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子供から高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいているスポーツ推進委員のモチベーション維持が課題として

挙げられており、委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

3 スポーツ施設の整備充実

令和元年度の主な取組

◇物見山テニスコート人工芝改修工事

- ・既設人工芝撤去 A=2,740m²
- ・砂入り人工芝敷設 A=2,740m²
- ・ゴムチップ舗装 A=63m² 他

◇能美市栗生運動公園ソフトボール場夜間照明施設新設工事

- ・照明塔新設 N=10 基
- ・主照明器具設置 N=64 台
- ・照明自動点灯盤新設 N=2 基 他

◇物見山運動公園複合遊具設置工事

- ・複合遊具設置 N=1 基

◇物見山運動公園外灯設置工事

- ・外灯設置 N=1 基

◇物見山運動公園複合遊具撤去工事

- ・複合遊具撤去 N=1 基

◇寺井小学校夜間照明施設撤去工事

- ・夜間照明施設撤去 N=7 基
- ・電気設備工事 N=一式

◇上記工事を含め 19 件の工事, 17 件の業務委託（実施設計等）, 11 件の備品購入を実施

◎改修工事費総額 127,073 千円

◎撤去工事費総額 6,675 千円

◎業務委託費総額 4,825 千円

◎備品購入費総額 2,451 千円

評価

物見山テニスコートは前回改修してから15年以上経過し、人工芝の剥離や摩耗がひどく、転倒によるケガ等の危険性が高いことから、利用者の安全性の向上を図るため、人工芝の敷設替えを行いました。

人工芝はナイロン等の製品であることから、テニスコートを利用することでどうしても摩耗するため、15～18年程度で敷設替えをする必要があることから、今後も中長期計画にて、次回の敷設替えの時期を定める必要があります。

栗生運動公園ソフトボール場には夜間照明施設を新しく設置しました。今までは日中のみの使用でしたが、今後は夜間にも利用できることから、仕事等で日中利用できなかった方の利用が期待できます。

施設の名称も栗生運動公園多目的グラウンドに変更し、今まではソフトボール中心でしたが、今後はサッカーや学童野球も利用できるようになります。

また、栗生運動公園に夜間照明施設を新設したことから、架台等の劣化により器具の落下の危険があった寺井小学校夜間照明施設を撤去しました。

物見山運動公園の複合遊具は設置後15年以上経過しており、施設の劣化や腐食等により危険なため、既設遊具を撤去し、新しく複合遊具を設置しました。設置する際は運動公園の遊具利用者の現状を勘案し、低年齢層を対象にした遊具を選定しました。

今回の改修施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思えます。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

12回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 35件 }

平成31年度（令和元年度）教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成31年第4回 (H31. 4. 22)	<p>議案第8号 能美市学校運営協議会委員の選任について</p> <p>議案第9号 能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について</p> <p>議案第10号 能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員の選任について</p> <p>議案第11号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局各課事務分担について ・平成31年度石川県教育委員会連合会定期総会 ・平成31年度市内小中学校管理職・主任等について ・平成31年度小中学校学年別人数・学級数 ・平成30年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（3月状況） ・平成30年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（3月状況） ・能美市ゆかりのスポーツ選手交流事業「ブルーミングロード完成除幕式」について
令和元年第5回 (R元. 5. 20)	<p>議案第12号 令和元年度能美・川北地区教科用図書採択協議会規約について</p> <p>議案第13号 能美市社会教育委員の選任について</p> <p>議案第14号 能美市公民館条例の一部を改正する条例について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（4月状況） ・平成31年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（4月状況） ・教職員の多忙化改善に向けた取組について ・第62回全国銃剣道能美大会についておよびフリーマーケットの

	開催について
令和元年第 6 回 (R 元. 6. 26)	<p>議案第 15 号 能美市私立幼稚園補助金交付要綱の全部を改正する要綱について</p> <p>議案第 16 号 能美市文化財保護審議会委員の選任について</p> <p>報告第 1 号 専決処分の報告について (平成 30 年度能美市一般会計の教育関係補正予算要求について)</p> <p>報告第 2 号 専決処分の報告について (令和元年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について)</p> <p>報告第 3 号 能美市博物館協議会委員の選任の報告について</p> <p>報告第 4 号 能美市図書館協議会委員の選任の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県教育委員会への「要望書」の提出について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 (5 月状況) ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告 (5 月状況) ・学校教育課: 市内小中学校食物アレルギー児童生徒数 ・学校教育課: 令和元年度学校教育懇談会について
令和元年第 7 回 (R 元. 7. 19)	<p>議案第 17 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県市町教育委員会セミナーの開催について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 (6 月状況) ・小中学校教職員時間外勤務状況 (6 月状況) ・第 38 回加賀地区中学生意見発表大会について ・第 71 回石川県民体育大会について
令和元年第 8 回 (R 元. 8. 23)	<p>議案第 18 号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 19 号 能美市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>議案第 20 号 令和 2 年度～令和 5 年度使用小学校教科用図書の採択について</p> <p>議案第 21 号 令和 2 年度使用中学校教科用図書 (道徳を除く) の採択について</p> <p>報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（7月状況） ・小中学校運動会（9月開催）の臨席について ・令和元年度全国学力学習状況調査の結果について ・2019秋常山古墳まつりについて ・ふれあいあいさつデー強化週間について ・第71回石川県民体育大会の結果について
令和元年第9回 (R元. 9. 26)	<p>議案第22号 能美市根上総合文化会館管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告第5号 専決処分の報告について (令和元年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について)</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県市町教育委員会連合会研究大会（加賀市） ・能美市教育委員会の点検及び評価報告書について ・小中学校教職員時間外勤務状況（8月分） ・スポーツフェスティバル in てらい スポーツフェスティバル in たつのくちについて ・第74回国民体育大会出場選手について ・第17回世界陸上競技選手権大会パブリックビューイング（男子50^{kg}競歩 鈴木雄介選手出場）
令和元年第10回 (R元. 10. 23)	<p>議案第23号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第24号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（9月状況） ・子どもマイスターウィークについて ・能美市アットホームタウンフェスティバル2019について
令和元年第11回 (R元. 11. 21)	<p>議案第25号 令和元年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第26号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認</p>

	<p>定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（10月状況） ・能美市中学生全国大会等懸垂幕掲示について ・歳末助け合い入札展について
<p>令和元年第12回 (R元. 12. 23)</p>	<p>議案第27号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第6号 能美市学習会館の指定管理者の指定について</p> <p>報告第7号 能美市和気あいあいの里キャンプ場の指定管理者の指定について</p> <p>報告第8号 能美市働く婦人の家の指定管理者の指定について</p> <p>報告第9号 損害賠償の額の決定及び和解の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（11月状況） ・令和2年成人式について ・歳末助け合い入札展結果報告 ・第44回全日本競歩能美大会コース変更について ・第14回アジア射撃選手権大会銅メダル平田しおり選手報告会および市長表敬について
<p>令和2年第1回 (R2. 1. 24)</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（12月状況） ・小中学校の卒業式・入学式について ・令和2年 能美市成人式参加者数の報告について ・まなびフェスタ2020について
<p>令和2年第2回 (R2. 2. 21)</p>	<p>議案第1号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第2号 令和2年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第3号 令和元年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第4号 能美市体育施設条例の一部を改正する条例について</p>

	<p>議案第5号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告第1号 能美市指定有形文化財の指定解除の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒報告（1月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（1月状況） ・まなびフェスタ 2020 の報告 ・第44回全日本競歩能美大会について ・第44回全日本競歩能美大会関連イベントについて ・能美市スポーツ教室 金沢武士団 IN 能美について
令和2年第3回 (R2. 3. 19)	<p>議案第6号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第7号 能美市私立幼稚園就園補助金交付要綱を廃止する要綱について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（2月状況） ・市内教職員離任式について ・令和元年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書 ・能美市ふれあいあいさつデーについて ・風と緑の楽都音楽祭 2020in 能美について

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
H31. 4. 1	事務局職員辞令伝達式
H31. 4. 5	市内小学校・中学校入学式
H31. 4. 10	市内教職員着任式
H31. 4. 15	ふれあいあいさつデー
H31. 4. 22	第4回市教育委員会会議
H31. 4. 26	市体育協会定期総会
H31. 4. 27	いしかわ・金沢 風と緑の楽都 音楽祭 2019in 能美
R1. 5. 14	第1回県教委連教育委員代表者会（金沢市）

R1. 5. 14	県教委連定期総会（金沢市）
R1. 5. 15	ふれあいあいさつデー
R1. 5. 19	スポーツフェスティバル in ねあがり
R1. 5. 20	第5回市教育委員会会議
R1. 5. 25	和気小学校運動会
R1. 5. 31	寺井小学校計画訪問
R1. 6. 1	福岡, 粟生小学校運動会
R1. 6. 5	能美中学校相撲大会
R1. 6. 8	宮竹小学校運動会
R1. 6. 9	第62回全国銃剣道能美大会
R1. 6. 15	中学校文化活動交歓会
R1. 6. 15~17	加賀地区中学校総合体育大会
R1. 6. 17	ふれあいあいさつデー
R1. 6. 17	辰口中央小学校計画訪問
R1. 6. 21	和気小学校計画訪問
R1. 6. 26	第6回市教育委員会会議
R1. 7. 2	湯野小学校計画訪問
R1. 7. 16	ふれあいあいさつデー
R1. 7. 18	第71回県民体育大会能美市選手団結団式
R1. 7. 19	第7回教育委員会会議
R1. 7. 23	市内小学校・中学校第1学期終業式
R1. 7. 24	学校教育懇談（和気小, 辰口中央小, 宮竹小, 辰口中学校）
R1. 7. 25	第2回県教委連理事会（金沢市）
R1. 7. 29	韓国大徳中学校少年親善使節団表敬訪問（寺井中学校姉妹校）
R1. 7. 29	学校教育懇談（浜小, 福岡小, 根上中学校）
R1. 8. 3~4	県民体育大会夏季大会（小松市）
R1. 8. 8	石川県市町教育委員会連合会教育セミナー（金沢市）
R1. 8. 8	第1回県教委連「役員会」
R1. 8. 10	第38回加賀地区中学生意見発表大会
R1. 8. 23	第8回市教育委員会会議
R1. 8. 25	夏休み席書大会
R1. 8. 27	学校教育懇談会（寺井小, 湯野小, 粟生中, 寺井中）
R1. 8. 30	市内小学校・中学校第2学期始業式
R1. 8. 30~	ふれあいあいさつデー強化週間
R1. 9. 19	第2回県教委連教育委員代表者会（金沢市）
R1. 9. 7	辰口中学校運動会
R1. 9. 11	寺井中学校, 根上中学校運動会

R1. 9 . 12	小学校運動会（寺井小，湯野小，辰口中央小）
R1. 9 . 21	小学校運動会（浜小）
R1. 9 . 21	能美中学校新人大会
R1. 9. 23	2019 秋常山古墳まつり
R1. 9. 26	第 9 回市教育委員会会議
R1. 9. 27	寺井中学校計画訪問
R1. 10. 6	スポーツフェスティバル in てらい
R1. 10. 6	スポーツフェスティバル in たつのくち
R1. 10. 7	根上中学校計画訪問
R1. 10. 9	栗生小学校計画訪問
R1. 10. 11	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（加賀市）
R1. 10. 13	寺井地区一周駅伝競走大会
R1. 10. 13	寺井地区ソフトバレーボール大会
R1. 10. 15	ふれあいあいさつデー
R1. 10. 23	ジュニア文化発表会（小学生の部）
R1. 10. 23	第 10 回市教育委員会会議
R1. 10. 24	宮竹小学校計画訪問
R1. 10. 28	浜小学校計画訪問
R1. 11. 3	能美市表彰式
R1. 11. 5	ジュニア文化発表会（中学生の部）
R1. 11. 5	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
R1. 11. 5	能美市総合文化祭（展示部門・一般展示）
R1. 11. 9	市民文化・芸能大会
R1. 11. 10	能美市アンサンブルコンサート
R1. 11. 14	第 12 回こどもマイスター賞表彰式
R1. 11. 15	ふれあいあいさつデー
R1. 11. 15	能美市総合教育会議
R1. 11. 21	第 11 回市教育委員会会議
R1. 11. 22	第 3 回教委連理事会（金沢市）
R1. 11. 26	辰口中学校計画訪問
R1. 11. 30	能美市ファミリーコンサート
R1. 12. 2	福岡小学校計画訪問
R1. 12. 6～8	第 56 回歳末助け合い入札展
R1. 12. 16	ふれあいあいさつデー
R1. 12. 23	第 12 回教育委員会会議
R1. 12. 24	市内小学校・中学校第 2 学期終業式
R2. 1. 8	市内小学校・中学校第 3 学期始業式

R2. 1. 12	成人式
R2. 1. 15	ふれあいあいさつデー
R2. 1. 24	第1回市教育委員会会議
R2. 2. 16	まなびフェスタ 2020
R2. 2. 17	立志式
R2. 2. 17	ふれあいあいさつデー
R2. 2. 21	第2回市教育委員会会議
R2. 3. 13	市内小学校卒業式
R2. 3. 15	第44回全日本競歩能美大会
R2. 3. 16	ふれあいあいさつデー
R2. 3. 19	第3回市教育委員会会議
R2. 3. 30	能美市教職員離任式

評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

能美市総合教育会議では、「市内小中学校の学力の現状と学力向上策について」、「市内小中学校のICT機器の整備計画と活用について」の2点をテーマに市長と有意義な協議の機会となり、市長と教育委員会の円滑な意思疎通を図ることが出来ました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

本報告書を拝見すると、学校教育においては、道徳の教科化、学習指導要領の改訂に伴う新たな動きなど現場が求められている大きな変化や、子どもたちの心の成長を支える取組、個に応じた支援をすることで能力を引き出す取組など、先生方が懸命に取り組み、教育委員会もそれを支援している様子が伺われます。特に、令和元年度には効果的な講義による研修が行われたようです。今後さらに先生方が学ばれたことを自身のものとし、目の前の児童達にあわせて柔軟に現実化させるためには、先生方同士の対話や実践報告をもとにした研究など様々な形式の研修が継続して行われる必要があると思われます。引き続き、学校と教育委員会が研修方法も含めて相談しながら、現場での教育力向上が図られますことを期待しております。

また、社会教育を含めて、全体的に市民や生徒、市長部局など、人々を巻き込む企画が多いように感じました。例えば、「まなびフェスタ」では、参加者が年代もまんべんなく参加されており、参加者からも交流を楽しまれている様子が伺われますし、さらに、その後の地域での学びに誘うような企画など工夫が見られます。また、「秋常山古墳まつり」はその過程において多くの方が開催に向けて連携協力しておられます。残念ながら台風による開催が中止されましたが、その過程がもたらしたものの価値は大きいのではないのでしょうか。あるいは、青少年教育の野外体験で教育部門と福祉部門が連携協力していることも、「縦割り行政の弊害」を指摘されることの多い日本にあって、横のつながりを大切にされている様子が伺われます。全てを列挙することはできませんが、能美市全体がこのような人、あるいは組織間のネットワークの視点を持たれていることは素晴らしいと思いますし、大切にしていっていただきたいと思います。

一方で、能美市も日本各地と同様に、地域社会の様子が変わってきており、地域づくりには課題があることも見えてきます。一つの例を挙げると、公民館の運営に関しては新たな社会情勢の中で、どのように考えていくのか、能美市全体で道を切り拓いていくしかないことなのではないかと感じました。ただし、報告書として、その課題をはっきり示し、市民の皆さんに知っていただくことはとても意味があることだと感じます。上記のように、多くの人を巻き込んでいくためには、課題を明記することも大切なことだと感じました。

さて、本報告書を拝見している令和2年7、8月は新型コロナウイルス感染拡大によって、日本全体が大きな影響を受けています。しかし、これまで教育委員会、学校現場が取り組まれてきたこと、その過程での人々のネットワークが基盤となり、このような状況下にあっても学校教育だけでなく社会教育も完全には止めることなく、できることを探していわれていることと思います。

その際、目の前の問題への対応と同時に、言うまでもなく、その先の地域のことも考えておかなければなりません。ここ数年間の報告書を拝見すると、これまで様々な課題に計画的に取り組まれてきていることがわかります。例えば、この令和元年度事業の報告書で

は、過去において施設がほぼ同時期に鉄筋コンクリート化したことによる課題に、優先順位をつけ計画的に解決が図られていることが書かれています。しかし、今回の世界的な新型コロナウイルス感染症拡大によって、例えば学校での教育方法、さまざまな研修のあり方、社会教育の学習機会の提供方法など、子どもたちの成長を見守り、すべての人々の生涯学習を支援する在り方は見直しが求められています。教育委員会に関わる人的、物的限界を現実的に考えつつ、状況に合わせて柔軟に取り組むことと共に、多面的、あるいは長期的な視点から計画を考える必要があります。さらに、それに基づいて実績を分析・評価し、改善を図っていかねばなりません。それに対して、市民、市長部局の理解、連携・協力を求めるには、本報告書の内容を公表することはとても意味のあることと思います。今後とも、わかりやすく、課題も含めて正確な情報発信していくことを心がけていただければと期待しています。